

日 薬 業 発 第 395 号
令和 5 年 1 月 13 日

都道府県薬剤師会担当役員殿

日 本 薬 剤 師 会
副会長 田尻 泰典
副会長 森 昌平

医療用解熱鎮痛薬等の在庫逼迫に伴う協力依頼及び
疑義解釈資料の送付について（その 39）

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

標記について、厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課より別添 1 のとおり連絡がありましたのでお知らせいたします。

新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大による解熱鎮痛薬等の需要増加および季節性インフルエンザとの同時流行を想定した外来医療提供体制の強化に伴い、解熱鎮痛薬等の安定供給に係る相談窓口の設置、解熱鎮痛薬を必要とされている方に継続して供給できるようにするため、買い込みを厳に控えることや代替薬の使用等への協力依頼については、令和 4 年 12 月 16 日付け日薬業発第 350 号他にてご案内の通りです。

今般の連絡は、現在においてもなお解熱鎮痛薬等の需要が増加している一方、製造販売業者からの限定出荷が続いており、特に小児用（散剤等）の製剤については全国的に薬局等における必要量の入手が困難な状況となっていることから、引き続き、買い込みを厳に控えることや代替薬の使用、小児用のアセトアミノフェン細粒やシロップ剤が不足した場合の対応（5 歳以上で錠剤が服用できる患者への錠剤の使用や、必要に応じて錠剤粉碎等の調剤上の取組みについて考慮すること）等への協力を依頼するものです。

また、これに関連して、厚生労働省保険局医療課より別添 2 のとおり、調剤上の取組みに関連した保険上の疑義解釈が追加で示されました。

会務ご多用のところ誠に恐縮ですが、地域において限られた医療資源を必要な患者に適切に供給できるよう、貴会会員にご周知くださいますようお願い申し上げます。

<別添>

1. 医療用解熱鎮痛薬等の在庫逼迫に伴う協力依頼（令和 5 年 1 月 13 日付．厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課事務連絡）
2. 疑義解釈資料の送付について（その 39）（令和 5 年 1 月 13 日付．厚生労働省保険局医療課事務連絡）